

会 議 録

1 会議名

令和6年度 第1回上越市白山会館運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 令和5年度社会同和教育活動事業の報告について（公開）
- (2) 令和6年度社会同和教育活動事業について（公開）
- (3) その他（公開）

3 開催日時

令和6年5月22日（水） 午前10時00分から午前11時00分

4 開催場所

白山会館 多目的集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：寺田委員長、嶋田副委員長、尾崎委員、松岡委員、佐藤委員、小山田委員、宮下委員、江村委員、蓑輪委員、笠原委員、西山委員
- ・事務局：社会教育課 福山課長、竹内副課長、岡田係長、中田主事、石川社会教育指導員、野崎社会教育指導員

8 発言の内容（要旨）

（1）開 会

（2）委嘱状の交付（新任委員）

（3）委員長挨拶

（4）議 事

① 令和5年度 社会同和教育活動事業の報告について

— 資料に基づき事務局説明 —

【研修会等への参加について】

（嶋田副委員長）

県連関係の研修会の表に、胎内市で開催された「新潟県人権保育研究集会」の記載がないが、参加していないのか。

（事務局）

令和4年度は、上越市開催のため、社会教育課から3人参加した。令和5年度の胎内市開催時は、上越市の代表として人権・同和対策室の職員が参加した。社会教育課の参加者がいないため、表には記載していない。

（嶋田副委員長）

承知した。令和6年度は、近場の糸魚川市開催なので、社会教育課の職員や委員の皆さんもぜひ、参加いただきたい。

【教職員等現地学習会について】

（寺田委員長）

継続して現地学習会に取り組んでいて、社会教育指導員が気付いたことや学校からの要望があれば、意見交換いただきたい。

（事務局）

各校学級数が減少し職員数も減少してきているが、感染症対策として設けていた人数制限をなくしたため参加者数は増加した。最近は、複数校が合同で行う現地学習会が多い印象である。

(尾崎委員)

城北中学校は毎年、年度当初に現地学習会を設定している。4月の入学式前の早い時期に、部落問題学習の機会をいただき感謝している。

【人権を考える講話会について】

(松岡委員)

東本町小学校区の参加者が20人と少ないが、講話会后、受講した内容を基に協議する時間を設けた。受講して終わりではなく、すぐに話し合うことで、人権に関するコアリーダーが育ったのではないかと思う。参加者数も大事だと思うが、この講話会を生かすアイデアも必要だと思った。

【人権に関する図書・ビデオについて】

(江村委員)

ビデオのうち、VHSが37巻あるとのことだが、実際に借りる人はいるのか。

(事務局)

令和4年度には、VHSを借りた方がいらっしゃった。その方は、教職員で学校にVHSのビデオデッキがあるとのこと。また令和5年度は、「破戒」というDVDを白山会館に設置した。今後も多くの貸出を促したい。また教育プラザ内にある上越地区広域視聴覚ライブラリーにも様々なDVDを取り揃えているので、そちらも活用いただきたい。

【同和教育研修会について】

(松岡委員)

令和5年度は11月17日に研修会を開催した。例年通り授業参観と講演会という枠組みは変えず、「主体的・対話的」というキーワードを大切にし、子ども同士が語り合い・つくりあう人権・部落問題学習を行った。今年度もこの研修会に向けて教職員ひとりひとりが力を合わせ心を一つにして取り組みたい。

② 令和6年度社会同和教育活動事業について

— 資料に基づき事務局説明 —

【研修会等への参加について】

(嶋田副委員長)

来年1月開催の「部落解放同盟新潟県連合会上越支部荊冠旗開き」の会場については検討中であり、後日報告したい。

【小・中学生学習会について】

(事務局)

令和6年度の対象者は、小学4年生が1人、中学2年生が3人、中学3年生が1人である。令和7年度、小・中学生どちらも新入生の見込みは無い。しかし1、2年後には小学生が入学する予定である。

(寺田委員長)

近い将来、対象者がゼロにはならないと思うが、減少傾向にあるので、学習会の在り方を考えなければいけない。

③ その他

意見等なし

9 問い合わせ先

上越市教育委員会社会教育課社会教育係 TEL : 025-545-9245 (内線 2740)
E-mail : shakai@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。